



# 校長室だより

第 4 5 号  
令和4年1月31日(月)  
大崎市立沼部小学校  
校長 吉田 浩之

## 外部講師による出前授業 その1 「盲導犬」

冬休み前の12月22日(水)、盲導犬協会の方をお招きして、4年生が盲導犬について学習しました。

前半は、盲導犬について、後半は目の不自由な人のことについてお話をいただきました。盲導犬は、目の不自由な人(ユーザー)に、曲がり角、段差、障害物を教えるのが仕事です。ハーネスをつけた盲導犬はお仕事中です。お仕事中の盲導犬には、「声を掛けない」「触らない」「のぞきこまない」「ものを与えない」ことが大切だそうです。

後半のお話では、「自分と違うから変な人ではない。人に目を向けて考える必要がある。困った人を『助けてあげる』ではなく、『助け合う』ことが大事」というお話に感銘を受けました。左手で左目を隠し、右手の親指と人差し指で小さく輪を作り、その穴から外を見るという体験もしました。この状態で見える様子が視野狭<sup>しやきょうさく</sup>窄という状態なのだそうです。住みよい街にするために、私たちに何ができるのかを考えるきっかけとなりました。



## その2 「情報教育」

1月28日(金)には、JR東日本の方をお招きして、5年生が情報教育について学習しました。JR東日本仙台支社より、企画、保線、運転手、車掌、駅員の7名の方にお越しいただきました。まず、それぞれ担当している仕事内容を紹介してもらいました。

後半は、ワークシートを使っての学習です。線路内に倒木が発生したという想定で、その情報を駅で待っている人にアナウンスするまでをロールプレイしました。保線担当が現状を司令員に伝え、司令員は情報を整理したうえで、今後の状況などを駅員へ伝え、乗客にアナウンスする内容を駅員が考えるという内容の伝言ゲームでした。言葉だけで伝えることは難しいものです。タブレットを使い、映像も使用することで、より正確に伝えることができることが理解できました。ロールプレイを通して、鉄道会社の仕事は人を運ぶこと。それには安全、安心、安定が欠かせない。それらを支えているのが“情報ネットワーク”と“人”だということを学ぶことができました。

最後に講師の先生方から、「情報ネットワークは皆さんの生活と深く関わり、生活を快適・便利にしています。皆さんも情報ネットワークを上手に活用する力を身に付けてください。」とメッセージをいただきました。

